



第21号

令和2年12月1日  
高山赤十字病院

## 病院長よりこんにちは！

拝啓 師走、何かと気ぜわしいこのころとなりましたが、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃より開業医の先生方はじめ関係機関の皆さまには、患者さんのご紹介をはじめ、相互連携にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

2002年ノーベル物理学賞を受賞し11月12日にお亡くなりになった小柴昌敏教授、その数日後にはNHK「ブラタモリ」という番組で飛騨が特集され、神岡町のカミオカンデについて放映されました。ご覧になられた方も多いかと拝察しますが、改めて先生の功績を再確認した機会でした。

これまでニュートリノの質量は、厳密にゼロであるという考えのもと、自然法則を説明する理論（「標準理論」）が成り立っていましたが、その発見によって前提が覆されることとなりました。ニュートリノを解明することは、果てはどう人間が成り立っているかという哲学的な領域に達します。カミオカンデの建設には小柴先生の熱意はもちろんです、地元の協力なしには実現しなかったことは確かでしょう。当初は半信半疑だったかもしれませんが、先見の明を持ち地元の誇りとなっているカミオカンデです。今を生きる私たちも難局を乗り切り、未来のための選択となるよう邁進したいと思えます。

新型コロナウイルスの第三波が襲来しています。個々のレベルでも十分なウイルス対策をお願いいたします。

敬具

病院長 清島 満

### 【同封文書】

○病院長あいさつ「病院長よりこんにちは！」

前立腺肥大症に対するレーザー手術を開始します . . . P2

年末年始・外来診療のご案内 . . . P3

医師紹介『先生ってこんな人』 臨床研修 元田医師・小原医師 . . . P4

○外来担当医表 12月分

○高山赤十字病院診療案内

…患者さんによるご予約の場合に当院への紹介状と共にお渡しいただくと便利です

○地域連携係よりお知らせ



## 前立腺肥大症に対するレーザー治療をはじめます

### 【HoLEP】ホルミウムレーザー前立腺核出術

HoLEPは、前立腺の肥大した腺腫だけくり抜いて(核出)、膀胱に落とし込み、その後膀胱内で腺腫を細切し回収する手術です。

従来の手術よりも負担がすくないため、尿道カテーテル留置や入院期間が短く済むことが特徴です。

【運用開始】 令和2年12月1日

【入院期間】 5日間～7日間 程度

#### HoLEPのメリット

1. メスを使用しないため、身体に優しいです。
2. 侵襲性も低く、痛み、出血が少ないです。
3. 肥大した前立腺組織を核出するため、再発の可能性が低いです。

#### 開業医の先生方へ

内服治療の長期化、悪化、手術希望などございましたら、ご紹介いただければ幸いです。

また、運用開始からしばらくは安全性を考慮し全身麻酔下にて手術を実施しますので、超高齢者、寝たきりの方への対応が難しい場合もございますが、その際はご容赦ください。



ご不明な点等ございましたら  
当院泌尿器科までご連絡ください。



## 《年末年始・外来診療のごあんない》

年末は、12月28日（月）まで通常どおり外来診療を行います。

年始は、1月4日（月）から通常どおり外来診療をはじめます。

### ■年末年始スケジュール■

月	火	水	木	金	土	日	
21	22	23	24	25	26	27	
←		通常どおり			→		
28	29	30	31	1	2	3	
←	年末年始休み					→	
4	5	6	7	8	9	10	
←		通常どおり			→		





## ◇◇『先生ってこんな人』シリーズ⑬◇◇

開業医の先生と「顔の見える関係」を築き、安心して患者さんをご紹介いただけるようスタートした『先生ってこんな人』シリーズ。第13回目は、初期臨床研修期間を間もなく終えるお二人、小原巨頭先生、元田晴伸先生です。

---

研修医

げんだ はるのぶ  
元田 晴伸 医師



研修医

おはら のぶあき  
小原 巨頭 医師

### ご出身はどちらですか？

**小原：**長野県塩尻市に生まれ育ちました。家の目の前はワイン畑が広がり秋にはぶどうの香りが漂う長閑な環境でした。高校卒業後は鳥取大学に進み、全く文化の異なる土地柄でしたが、食べ物は美味しく人ものんびりしていて良かったです。

**元田：**飛騨市古川町に生まれ斐太高校卒業後、自治医科大学に進学しました。僕が生まれたのは高山日赤の診療本館が新築間もなくだそうで、熱性痙攣を発症し10歳くらいまで小児科部長の山岸先生に診ていただいた記憶があります。



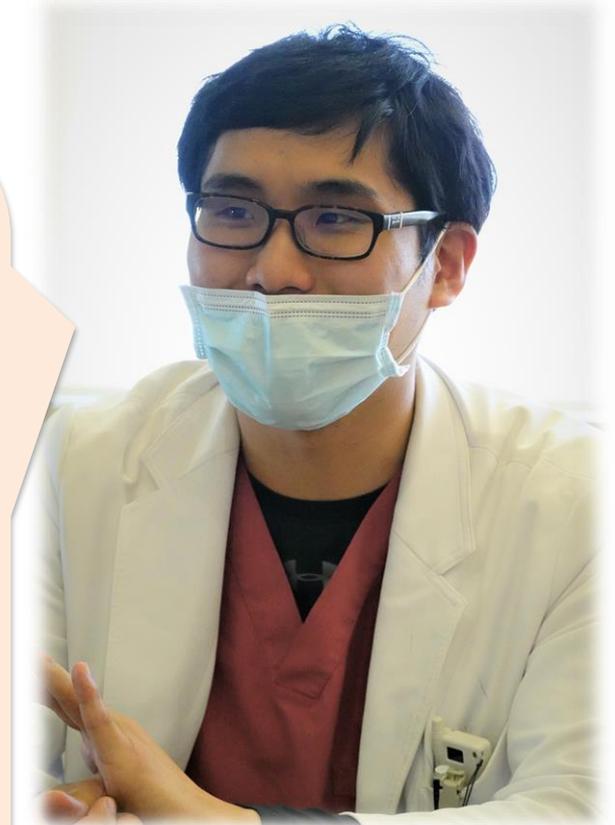
### 先生が医師になろうと思った時期やきっかけは？

小原：幼少期から特に何かになりたいと思った記憶がないのですが、尊敬する祖父からは手に職をつけるとの教えがありました。そのため、気象大学校、京都大学工学部に受験するも不合格、後期試験で鳥取大学医学部に入学しました。  
今思えば、高校卒業間際に進路が決定したと言えますね。

元田：中学生の頃から「人を助ける仕事」がしたいと思っていました。消防士、救急救命士など様々ありますが、保健師である母の影響もあり、姉弟みな医療の道に進んでいます。医師を志そうと高校時代の授業の一環で病院見学をしたことも印象に残っています。内科今井奨先生の案内で院内を周り、晴れて研修医としてお世話になると、「これまで100人以上の高校生を案内したけど医師になって戻ってきたのは元田がはじめて」とおっしゃっていただきました。

### 研修中の印象的な思い出はありますか？

元田：印象深いのは、やはりはじめて主治医として担当した患者さんですね。  
上級医からは重症化する可能性を示唆されていましたが、その重要性を当時どのくらいわかっていたか…今思うと、もっと出来たことがあるのではないかと思います。  
患者さんは救命救急センターに入院し人工呼吸器を装着するも徐々に回復し、長期入院を経て無事退院されました。  
その間、上級医に相談しながら本を読みあさり、何が最善であるのかを必死に模索しました。いつコールが鳴るかわからないので、帰宅するとすぐお風呂に入り、気の抜けない毎日。週末になると相談する上級医がいないので土日になるのが嫌だなと思ったこともあります。





小原：総合診療医を志すきっかけとなった出来事は忘れられません。救急外来に高齢の女性が運ばれた際、所見は余命厳しかったのですがそれ以上に状況をご家族が受け入れられず、医療としては間違っているかもしれませんが、時間の猶予を持たずため治療を施していました。結果、1週間ほどしてお亡くなりになったのですが、その時間はご家族にとって必要な時間であったと思うと同時に、主治医として多くの葛藤を抱えました。「先生、ありがとうございました」の一言は非常に重い言葉でしたし、患者さんから多くを学ばせていただいたと思います。



### どんなドクターになりたいですか？

小原：当院での研修を通じて、「家庭医」を目指そうと思っています。都会での研修では症状を診ることに特化した診療スタイルもありましたが、患者の生活背景まで深く洞察しながら多角的に診る患者さんに寄り添った医師になりたいと思いました。

元田：原点に「人を助けたい」という想いがあり3年目はへき地医療に携わるので、今はあまり専門を強く意識していませんが、内視鏡検査や大腸カメラでのがん発見などやりがいを感じているので消化器内科が今の希望です。来年以降も当院での週1回の研修があるので、今後とも宜しくお願いします。





### 次世代の子どもたちへメッセージ

小原：世の中の風潮として子供に夢を持たせるための職業、キャリア教育が支持されています。しかし、大人がよかれと思って子供に夢を持っているかどうかを問うていくと、「夢を持っている子＝よい子、夢を持っていない子＝残念な子」というレッテルを張りがちです。僕は高校卒業間際まで進路はわかりませんでした。「目の前のことを頑張る」ことを続けた結果、今に至ります。なりたい職業が定まっていないことを卑屈に思うことなく、興味があること、目の前にあることを一生懸命に頑張ってもらいたいですね。

小学校卒業後働きだし、90歳を過ぎてなお現役で税理士をしていた祖父からは、「置かれた場所で咲きなさい」と教えられました。きっと、「今」頑張ることが点となり、点はいずれ線となって繋がっていくのだと思います。



元田：当院の上の先生方と僕たち若い医師の間の層が少なく、上の先生方が引退されたらどうなるんだろうと思いますが、昨年地元出身の西野先生、高桑先生が戻ってこられました。地元出身の先生に戻ってきていただき心強いですし、将来ドクターになろうと考えている子どもたちも、それぞれの考え方はありますが、地元に戻り地域医療を支えてもらえたら率直に嬉しいです。

## 開業医の先生方へ

小原：逆紹介させていただいた際など、不足の情報などフィードバックしていただきました。僕たち研修医はフィードバックをいただいて初めて気づくので大変有難く、多くの先生方とのやり取りを通じて勉強させていただき、心より感謝申し上げます。

元田：患者さんをご紹介いただく際は、僕ら研修医へご紹介いただいたわけではないのですが、逆紹介の際は拙い文章で申し訳ありませんでした。来年からは自分が紹介する立場となるので、紹介状の内容や、紹介する際の基準など参考にさせていただき、先生方から勉強させていただきました。ありがとうございました。

少数精鋭で切磋琢磨したもう一人の仲間、  
2年目研修医の梁成秀先生は、院外研修中です。  
僕ら同様お世話になり、誠にありがとうございました。  
あと数か月、飛騨地域の方々にお世話になりますが、  
どうぞ宜しくお願い致します。

